

1 部

学習サポート

4 / 1 ~ 5 / 8 の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2014』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
5月科目修了試験	レポート・ 申込みハガキ	4月23日(水)
春期スクーリングⅢ (4/25~5/11)	申込みハガキ	4月3日(木)
春期スクーリングⅣ (5/16~6/1)	申込みハガキ	4月24日(木)
オンデマンド・スクーリング	TFUオンデマンド 画面上申込み	4月7日(月)正午 ほか本冊子 p. 44 表参照
特講・社会福祉学5・6 履修登録・スクーリング申込み	申込用紙 (本冊子巻末)	5月13日(火)
単位互換協定にもとづく認定単 位スクーリング資料請求締切	p. 37~39参照	4月5日(土)
単位互換協定にもとづく認定単 位スクーリング出願締切		4月15日(火)

	受付日
<p>レポート</p> <p>(レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)</p>	<p>4月8日(火) 4月16日(水)</p> <p>4月24日(木) 5月8日(木)</p>

※「スクーリング受講者専用別レポート」締切：(郵送) 受講後1カ月以内
(オンデマンド) 5部参照

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締切日	備考
<p>★■社会福祉援助技術実習指導B-1 +★■社会福祉援助技術演習C-1 スクーリング受講申込み</p>	4月1日(火)	
<p>★■社会福祉援助技術実習指導B-2 スクーリング受講申込み</p>	4月1日(火)	(注)
<p>★■社会福祉援助技術演習C 1単位めレポート (スクーリング事前課題)</p>	4・5月受講希望者 →4月8日(火)	『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「★■指導B」 p. 151~154
<p>★■社会福祉援助技術実習指導B 課題1 ◆社会福祉援助技術現場実習指導 課題1-① (実習計画案)</p>	5月受講希望者 →4月15日(火)	「★■演習C」 p. 142~146 「◆指導」 p. 196~198
<p>◆社会福祉援助技術現場実習指導(事前) スクーリング受講申込み</p>	4・5月受講希望者 →4月1日(火)	+ 『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 36~37
<p>★■社会福祉援助技術演習C 「分割型」スクーリング受講申込み (『With』97号巻末申込用紙) + 1・2単位目レポートほか受講条件の達成</p>	実習免除者・来年度以降科目等履修生での実習希望者 →4月1日(火)	

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
◆★精神保健福祉援助演習 1 単位めレポート (スクーリング事前課題)	6・7月受講希望者 →4月15日(火)	(注) 『レポート 課題集 2014(社会福祉編)』
◆★精神保健福祉援助実習(事前指導) スクーリング受講申込み	5・6月受講希望者 →4月1日(火)	「◆★演習」 p. 266～270
◆★精神保健福祉援助実習(事後指導) スクーリング受講申込み	9・2月受講希望者 →4月1日(火)	「◆★実習」 p. 271～278
◆★精神保健福祉援助実習 課題1-① (実習計画案)	5/18受講希望者 →4月21日(月)	「■演習A」 p. 237～240 「■演習B」 p. 241～245
■精神保健福祉援助演習A スクーリング受講申込	6～7月受講希望者 →4月30日(水)	「■演習C」 p. 246～249
■精神保健福祉援助演習B-1 + ■精神保健福祉援助実習指導A-1 スクーリング受講申込	9月受講希望者 →4月30日(水)	「■指導A」 p. 250～253 「■指導B」 p. 254～257
■精神保健福祉援助演習C 1 単位めレポート	5/17・18受講希望者 →4月30日(水)	+ 『試験・スクー リング 情報ブッ ク2014』
■精神保健福祉援助実習指導B 課題1-① (実習計画案)	5/17・18受講希望者 →4月21日(月)	p. 37～41

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締切日	備考
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 教育実習の事前事後指導 実習事前課題 *2014年3月事前指導スクーリング受講者は、『障害者教育実習の手引き・改訂』第31版 p. 226~229を使用	3月受講済者 →4月11日(金) ※ 5月実習開始者は4月2日(水)	(注) 『レポート課題集2014(心理・教職編)』 「教育実習」 p. 179~189 「障害者実習」 p. 254~267*
教育実習・障害者(児)教育実習誓約書・健康診断書(・個人調査票のコピー)提出	5月実習開始者 →4月2日(水) 6月実習開始者 →4月15日(火)	※事前指導受講済者のみ対象

■その他

●卒業研究

- ・申込締切(3月卒業希望者) 4月5日(土)

●科目等履修生(4月生)

- ・継続申込締切 4月10日(木)
- ・学費納入期限 4月20日(日)

ご卒業おめでとうございます

教員 MESSAGE

通信教育部部長・教授 寺下 明

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

入学するより卒業するのが難しいといわれるのが通信教育です。皆さんが卒業という日を迎えるまでには、並々ならぬ学習への情熱はもとより、何よりも学習と仕事や家事を両立させ、学習を継続する強い意志が必要だったことは想像に難しくありません。皆さんのこれまでのご努力に改めて敬意を表したいと思います。また、皆さんを温かく支えてこられたご家族やご友人、職場の方々に対し、心より御礼申し上げます。

東日本大震災の影響がいまだに残るなかで、私たちは今、経済や社会の再生・復興を押し進めていく重要な時期にあります。復興への槌音は聞かれるものの、まだ道は半ばという状況にあり、国際社会においても我が国の地位の凋落は様々な点で指摘されてきました。そんな中で、BBCが2012年に公表した「世界に良い影響・悪い影響を与えている国」という世界世論調査がありました。それによりますと、結果として、世界に良い影響を与える国として、日本が1位に上げられました。それは、震災後の日本人の絆や共生を合い言葉に様々な助け合う姿が世界に報じられたからだと思います。

東北福祉大学は、仏教の教えである「行学一如」を建学の精神としております。「行」とはすなわち実践であり、「学」とは学問研究のことであり、理論を学ぶことであります。学ぶことは、そのまま人格の形成にも通じます。理論として身についた知識・技能は、生活実践を通してさらに高められていきます。この理論と実践の融合による人間形成こそ、本学の教育理念に他なりません。そして、この理念のもとに「自利・利他円満」な社会

を実現していくのが本学の願いであります。このような意味で、今日の社会が求めているものは、本学が建学以来行っている教育実践の基本と同じであることがわかります。

通信教育は、自学自習が基本です。このことは、たいへん大きな意味もっていると思います。それは、自分の頭でものを考えることにつながるからです。今日では、すでに過去の延長線上でものを考え、問題を解決することが難しくなっています。新しい状況を自らの頭で理解し、その理解に基づいて問題を解決することが求められています。そして、自分の考えが正しいかどうかを客観的に確かめて結論を導き、実際に検証するということです。これは学問の方法にほかなりません。大きな変化の時代には、ますます学問が重要になります。本学通信教育部は、なによりも学問を大切にし、学問によって自ら考えることのできる人材を育成し、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

通信教育の学生から、ある時、自分が知っていることより知らないことの方が多くことに気づき、インターネットで調べたり、本を読んだりするのが面白くなり、入学しましたという趣旨のメールをいただいたことがありました。今日、生涯学習の理念がひろく行き渡り、学べる場があることは本当に素晴らしいことです。通信教育のイメージソングのなかに、小椋佳さんの「人間の贅沢ひとつ」という歌詞があります。たしかに、学びは、望めば誰でも手にできる人間の最高の贅沢なのかもしれません。

晴れて、学位記を手にされた皆さんが、本学通信教育部で身につけた知識や能力を社会参画や社会貢献などに遺憾なく発揮され、さまざまな立場でご活躍されること、また、さらなる目標に向かって学び続けられることを期待しております。私たち通信教育部一同は、皆さんを誇りに思い、これからもずっと応援し続けております。

スクーリング・アンケートより(1)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

●児童・家庭福祉論

- ・ 養護が必要な子どもたちの実態を映像で見て、胸が詰まりました。私は保育所で働いていますが、送迎時などに時々叩いたり、怒鳴ったり、ひどいことを言ったりする姿も見られます。保護者の状態に合わせて声を掛けるなどの対応をしていますが、一歩進んだ声掛けはなかなか難しいと感じています。虐待の捉え方を改めて深めながら、保護者への対応を考えていきたいです。
- ・ 講義の中の「自己の経験や体験は、福祉職を行うにあたっての全ての実践にはならない。プロとして事実を客観的に見つめる日が必要。」という言葉は、とても心に響いた。事実を客観的に見つめ、クライアント自らの持つ力を使って生きていけるよう、溺れず、流されず、バーンアウトしない、タフなソーシャルワーカーを目指していきたい。
- ・ 講義初日の先生の第一声は、「児童福祉は学べば学ぶほど、辛くなる。」という言葉でした。本当にその通りで、自分の生い立ちのことや子育てのことなどを思い返し、その中で間違いがあった事実を受け止めきれず、一日目は泣きたくするような気持ちになりました。それでも、講義より帰宅後、家族の顔を見て、自分自身の子育てを変えなければという思いが強く持てるようになりました。多くを学んだ、本当に勉強になる講義でした。

●障害者福祉論

- ・ 「優生思想」と「社会防衛思想」について、自らの胸に問いかける作業は、印象深い経験でした。自らの障害者に関する考え方の本質を見つめる作業になり、気付きを得たと思う。講義資料にキーワードを書き込みながら受ける講義も、教科書を一読しただけではピンと来なかった部分の理解が深まったように感じます。大切に保管して、今後も読み返したいと思います。
- ・ 私たちと障害のある人たちは、できることに差があっても、人としての差がないのだと改めて思いました。こんな当たり前のことを、忘れてしまったり、いろんなことを決めつけてしまったりしていたことに気が付きました。
- ・ 講義中に鑑賞したビデオが非常に印象深かった。夫婦ともに学校にも行かせてもらえず、何十年も家の中だけで過ごすしかなかった子ども時代を経て、普通に暮らしたいという思いが溢れていることが理解できた。同時に私はないも知らなかったのだということに衝撃を受けた。講義も先生の言葉のひとつひとつが、心に沁みこんでくるようだった。障害者に対する自分の価値観や偏見、差別に気が付かされて苦しかったが、とても充実したスクーリングだった。